

八幡商人

売り手よし、買い手よし、世間よし
三方よしの精神を受け継ぐ近江商人のふるさと

19 市立資料館
郷土資料館・歴史民俗資料館・旧西川家住宅(重要文化財)・旧伴家住宅(八幡教育会館)では近江商人の買集候約・買集剛健な暮らしを知らることができます。

▼ 大人800円・小人400円(4館共通) 9時~16時半(入館16時まで) 3月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始 ※観光シーズンは休館日なしの場合あり
TEL: 0748-32-7048 (市立資料館) TEL: 0748-32-1877 (旧伴家住宅)

20 日牟禮八幡宮
日牟禮八幡宮は、千八百年以上の歴史を誇ります。20歳でベトナムに渡り、海外貿易で活躍した近江商人 西村太郎右衛門が寄進した「安南渡海船籠」をはじめ、多くの重要文化財が納められています。3月に左義長まつり、4月に八幡まつりが開催されます。
TEL: 0748-32-3151

22 かわらぬミュージアム
地場産業の八幡瓦を中心に世界の瓦を紹介する国内でも珍しい瓦専門の展示館です。白磁に瓦をかけた外観が瓦の魅力を伝えています。瓦粘土を使った体験教室(要予約)を開催しています。
▼ 大人300円・小人200円 9時~17時(入館16時半まで) 3月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始 ※観光シーズンは休館日なしの場合あり
TEL: 0748-33-8567

21 白雲館
重要伝統的建造物群保存地区にあり、昭和初期に建てられた近江商人野間清六の分家を改装し、開館。独自の企画展や取り組みは国内外から注目されています。

▼ 一般200~300円 11時~17時 3月(祝の場合は翌休)・展示入替時・年末年始 TEL: 0748-36-5018

24 イ草山の館
近江商人が取り扱った「畳表」の製作道具や材料のイ草の栽培方法などを紹介しています。また、7月の第3土曜日開催される浅小井祇園まつりで巡行する曳山として利用されています。
▼ 大人300円・小人150円(小中高) 10時~16時 TEL: 0748-33-0559 (事前予約制)

万葉ロマン

万葉ロマンに誘われ、いにしえより変わらぬ信仰の地を巡る

30 沙沙貴神社
古代の豪族、狭狹城山君の氏神とされ、平安時代中期以降は、近江源氏佐々木氏の氏神として崇拝されました。本殿をはじめ8棟の県指定文化財があり、境内を彩る四季折々の花々が美しく、4月の沙沙貴まつりなどが有名です。
TEL: 0748-46-3564

29 賀茂神社
約1300年前、全国初の国営放牧場が建設された地に、天平8年(736年)、聖武天皇により創建されました。馬の聖地として名高く、吉備備前ゆかりの神社です。5月の賀茂祭で行われる「足伏走馬」は、宮中の競馬行事を今に伝える、1000年以上の歴史をもつ由緒ある神事です。
TEL: 0748-33-0123

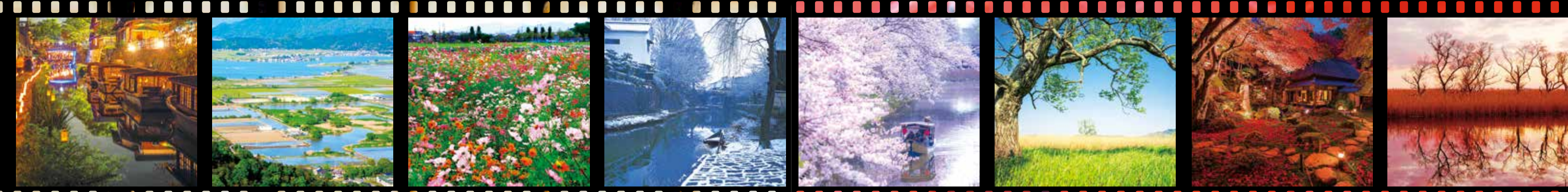
28 老蘇森 奥石神社
老蘇の森は、万葉の昔から歌に詠まれた森で、国の史跡にも指定されています。森の中には、織山(観音寺山)を御神体とした安産延寿・養育・農耕の神様である奥石神社があり、本殿は、重要文化財に指定されています。
TEL: 0748-46-2481

27 桑實寺
西国薬師堂場第46番札所で天智天皇の勅願により創建。初代定恵和尚が唐から桑の実を持ち帰り、日本初の養蚕を始めたことがその名の由来といわれています。本堂と桑実寺縁起巻は、重要文化財に指定されています。
▼ 大人300円・小人150円 9時~17時(12月~2月 16時半まで) TEL: 0748-46-2560・0748-46-4025

31 岩戸山十三仏
箕作山の南端の巨大な一枚岩に、聖徳太子が刻んだとされる13体の仏像が安置されています。毎年4月には千日会が行われ、信仰厚い人々で賑わいます。
TEL: 0748-46-4234 (安土駅観光案内所)

OMIHACHIMAN

近江八幡漫遊



~ A great place to live A great place to visit
A great place to come back to ~

住んでよかったまち 訪ねてよかったまち
もう一度 訪れたいまち

人、物行き交う 中山道、朝鮮人街道

伊庭 貞剛 (1847-1926)
住友を育て100年前に環境問題を考えた実業家
市内西宿町に生まれ、22歳で司法官に任命されるも10年で退職。叔父の広瀬幸平(住友初代総理事)に誘われ住友に入社します。住友は労使対立や別子銅山の公害問題などを抱えていましたが、貞剛の粘り強い努力で解決へと向かいます。後に住友第二代理理事に就任し、住友財閥の基礎を築きました。明治23年には第1回帝国議会の衆議院議員に当選しました。貞剛の生家跡には当時の楠の大木があり、「いばecoひろば」として人々の安らぎの場となっています。

25 近江中山道 武佐宿
江戸時代、中山道の宿場町として賑わいました。虫字窓や格子を巡らせた古い家並みと辻に残る石の道標が名残を留めています。武佐宿、武佐墨の産地であり、「武佐(武者)竜胆(ムシヤリンドウ)」は、当地で発見され名付けられたといわれています。

26 本願寺八幡別院
市内でも唯一の大寺院であり、関ヶ原の合戦で勝利した徳川家康の上洛の際に宿場所となりました。朝鮮通信使の休憩場所や食事場所としても使用されました。

白洲正子と 近江のかくれ里

32 長命寺 日本遺産 国指定重要文化財
随筆家 白洲正子が愛した近江、「かくれ里」・「近江山河抄」ゆかりの古刹を訪ねて
白洲正子は、明治43年(1910年)、榊山愛輔の次女として生まれ、女性として初めて能舞台に立ち、小林秀雄や青山二郎といった文化人と交流し、日本文化に関する随筆を多く手がけました。各地を旅し、その土地に息づく自然や文化の持つ美しさを、豊かで繊細な感性で文章につづり、今なお多くの人々を惹きつけています。

33 観音正寺 日本遺産
西国32番札所。605年、人魚の哀願により、聖徳太子が建立したと伝えられています。インドの白鵝を使用した高さ7mの千手千眼観世音菩薩像が安置されています。
▼ 入山料500円・内陣拝観料500円・林道通行料600円 TEL: 0748-46-2549

34 観音寺城跡 国指定史跡
織山(観音寺山)にあり、中世に近江を支配した佐々木六角氏の居城です。山城としては日本最大級の規模を誇る遺構で、国の史跡にも指定されています。現在も石垣や礎石が残る、日本100名城の一つです。

35 教林坊 市指定名勝
聖徳太子創建の古刹で、巨石を配し苔むした名勝庭園は、小堀遠州の作と伝えられ、桃山時代の侘びびの清雅な趣があります。紅葉の名所として、また近年は映画やドラマのロケ地でも知られます。
▼ (春)600円・小中生200円 (秋)700円・小中生200円 4-5-6・10月の土日祝日、11月1日~12月15日の毎日拝観可。
▼ 普通車80台・大型バス8台 TEL: 0748-46-5400

祭 歳時記
※延期・中止等となる場合があります。

- 3月 左義長まつり(日牟禮八幡宮)
- 4月 沙沙貴まつり(沙沙貴神社)
- 5月 足伏走馬(賀茂神社)
- 7月 浅小井祇園祭(浅小井町)
- 8月 伊崎の椿飛び(伊崎町)
- 9月 八幡堀まつり(八幡堀)
- 10月 近江源氏祭(沙沙貴神社)
- 11月 教林坊紅葉ライトアップ(教林坊)
- 12月 花火大会(桑実寺)

観光に関するお問合わせ

- 近江八幡駅北口観光案内所 TEL 0748-33-6061 / FAX 0748-32-4125
- 安土駅観光案内所 TEL・FAX 0748-46-4234

※パンフレットに記載されている料金等は改訂になる場合がございます。
発行：近江八幡市観光政策課 〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地
TEL 0748-33-3111(代) 0748-36-5573(直通) / FAX 0748-36-5882
写真提供：(公社)びわこビジネズビューロー

この印刷物は環境に配慮した印刷インキを使用しています。 R6.3

古地図散策アプリ
安土ぶらりまちあるき

ダウンロード方法
GooglePlay, AppStoreより「安土ぶらりまちあるき」を検索してダウンロードしてください。

AZUCHI

I 八幡堀周辺



【観光ボランティアガイド】
 2名様以上のグループで5日前(安土は7日前)までにお申込みいただきますと市内をガイドいたします。(交通費としてガイド1名につき1,000円〜2,000円ご負担願います。)

お申込みは…
 近江八幡駅北口観光案内所
 TEL 0748-33-6061
 安土駅観光案内所
 TEL 0748-46-4234

交通アクセス(車・電車)

▶JRをご利用の場合

東京駅	約2時間15分
米原駅	約2時間
安土駅	約30分
近江八幡駅	約30分
京都駅	約30分
大阪駅	約30分

▶車をご利用の場合

東京	約6時間
彦根 I.C.	約20分
草津田上 I.C.	約15分
亀山 I.C.	約45分

▶駐車場をご利用の場合 ※営業時間 9:00~17:00 令和6年4月改訂

種別	大型(小幡駐車場は中型及び準中型を含む)	普通車(軽自動車含む)	二輪(原付除く)
	収容台数	料金(1日)	収容台数
A.市営小幡観光駐車場 TEL: 0748-33-2411 (予約不可)	11台	2,000円	83台
B.多賀観光駐車場 TEL: 080-4013-1850 (予約可)	7台(最大10台)	2,000円	43台(最大57台)

II 安土駅前周辺



豊臣秀次
 豊臣秀吉の姉の長男で秀吉の養子。信長亡き後、秀次は八幡山城築城とともに八幡堀を掘削して湖上交通の要衝とし、安土や近郷の住民を城下に集め、楽市楽座制を取り入れた商業都市としての礎を築きました。後に、関白職を継ぐも、秀吉に秀頼が生まれたことにより、謀反の罪を着せられ、自害させられました。彼のまちづくり精神は今日まで引き継がれ、NPO法人秀次倶楽部などの団体により顕彰され、八幡開町の祖として慕われています。

織田 信長

天下布武を掲げ、乱世を駆け抜けた英雄はこの地を選んだ

- 安土城跡** 国指定特別史跡
 織田信長が約6年の歳月をかけて築城し、絢爛豪華な城郭だったと伝えられる安土城。現在は、厚重な石垣や礎石が残り、国特別史跡に指定されています。
 大人700円、小人200円 無休 8時半~17時(入館16時まで、季節により異なる) TEL: 0748-46-6594(安土山受付)
- 安土城天主 信長の館**
 1992年のスペイン・セビリア万博日本館のメイン展示物として出展された、原寸大の安土城天主5階6階部分の内部障壁画とともに展示しています。館内では当時の安土城と城下町の姿を再現したVRシアターを上映しています。
 大人610円、高大生350円、小中生170円 月(月祝、振休の場合は翌日)、年末年始 9時~17時(入館16時半まで) TEL: 0748-46-6512
- 滋賀県立 安土城考古博物館**
 信長と安土城に関する資料を展示しています。戦国武将の文書、安土城の金箔瓦など実物資料が展示されています。(令和6年5月27日~9月2日はリニューアル工事のため休館)
 常設展大人500円、高大生320円、小中生 無料(企画特別展特別展は別料金) 月(月祝、振休の場合は翌日)年末年始 9時~17時(入館16時半まで) TEL: 0748-46-2424
- 安土城郭資料館**
 内部まで精巧に復元した1/20スケールの幻の名城“安土城”や安土桃山時代を描いた屏風絵風の陶板壁画などを展示しています。喫茶や土産コーナーもあります。
 大人200円、高大生150円、小中生100円 9時~17時(入館16時半まで) 月(月祝、振休の場合は翌日)、年末年始 9時~17時(入館16時半まで) TEL: 0748-46-5616
- 浄厳院**
 信長が安土城下に建立した寺院。本堂など7つの重要文化財があります。天正7年(1579年)に、浄土宗と法華宗の間で“安土問答”が行われたことで有名です。
 大人500円 9時~16時半(要予約) 12月25日~1月15日 TEL: 0748-46-2242、0748-46-5435
- セミナーヨ 跡伝承地**
 信長の庇護を受けたイタリア人宣教師オルガンテリによって、天正9年(1581年)に創建された日本最初のキリシタン学校推定地。安土城炎上の際に焼失し、現在は一部が公園として整備されています。
 大人600円、高大生300円、小学生以下は無料 10時~16時 (TELにて事前予約制) 月・祝 その他不定休 月・祝 TEL: 0748-32-2456
- 柳記念館** 国指定文化財
 かつてのヴォーリス夫妻宅であり、ゆかりの品々を展示。事前に電話予約が必要。
 500円 (市外、中高生300円、小学生以下は無料) 10時~16時 (TELにて事前予約制) 月・祝 その他不定休 月・祝 TEL: 0748-32-2456
- 旧伊庭家住宅** 市指定文化財
 大正2年(1913年)建築の和洋式木造のヴォーリス建築。第2代住友総理事である伊庭貞剛の四男・慎吉の住宅として建てられました。
 10時~16時(受付15:30まで) 月・火・水曜日、夏季、年末年始(臨時休館あり) 1~2日は土・祝日のみ公開(平日は予約のみ) TEL: 0748-46-6324
- 池田町洋風住宅街**
 アメリカの開拓時代を象徴するコロニアルスタイルのヴォーリス建築で、レンガ階・高い壁・広々とした庭などが特徴。見学は外観のみとなります。

ウィリアム・メレル・ヴォーリス 近江八幡を深く愛したヴォーリス、その軌跡と精神が息づくまち

ウィリアム・メレル・ヴォーリス
 日本語名: 一 柳米来留 (1880-1964)

近江八幡の旧市街地には異国情緒ある洋風建築が数多くあります。それらの建築設計を手がけたウィリアム・メレル・ヴォーリスは、明治38年(1905年)滋賀県立商業学校(現八幡商業高校)の英語教師として米国から来日しました。熱心なキリスト教伝道活動とともに、「建物の風格は、人間と同じくその外見よりもむしろその内容にある」との信念をもと、国内外の約1,600件の建築設計に携わりました。メンレータム(現メンターム)を日本に輸入した人物でもあり、当時不治の病といわれた結核を治療する近江サナトリウム(現ヴォーリス記念病院)の建設、さらに教育者として、図書館や近江兄弟社学園(現ヴォーリス学園)を設立するなど、多数にわたる社会貢献事業を行いました。「近江八幡は世界の中心」との思いで、近江八幡のまちを深く愛したヴォーリスの軌跡と精神は、今もこの地で生かされています。

石橋邸(旧近江家政塾)、吉田悦庵邸、ウォーターハウス記念館、ダブルハウス市立資料館、クラブハリエ 日弁禮カフェ(旧忠田邸)、近江兄弟社メンターム資料館、アンドリュース記念館、近江八幡教会牧師館、旧八幡郵便局、村岡邸(旧岩瀬医院)ハイド記念館・教育会館、ヴォーリス記念館、八幡商業高校

水のさと

豊かな自然に恵まれ、水とともに生きるまち

- 八幡堀**
 近江八幡のまちの発展に八幡堀の役割を欠かすことはできません。豊田秀次は、八幡山城の堀であったこの八幡堀を運河として利用し、琵琶湖を往来する船を八幡の町に寄港させました。また、八幡山城下は、かつての安土と同じ楽市楽座を取り入れたことから、商人の町として活気づきました。近江商人として八幡の町から全国へと旅立ち活躍する原動力となった八幡堀は、昭和30年頃からの高度経済成長期には、人々の生活様式の変化とともに市民の関心も薄らいだことから、やがて堀はドブ川のようになり、埋め立て計画が持ち上がります。しかし「八幡堀は埋めた瞬間から後悔が始まる」を合言葉に市民有志が立ち上がった清掃活動に取り組みました。その結果、計画は中止され、堀はかつての姿を取り戻し、今日でも市民団体などによる清掃活動が続けられています。昭和40年代後半(明治橋からの風景) ↑ 昭和40年代後半(明治橋からの風景)
- 村雲御所瑞龍寺**
 秀吉に自害させられた豊田秀次の菩提を弔うため、生母の瑞龍院日秀尼公が、文禄5年(1596年)に京都の村雲に創建。昭和36年に、標高272mの現在の八幡山山頂に移築されました。山頂からは、安土山や琵琶湖、水郷地帯の眺望が楽しめます。山頂までは、ロープウェイ(片道540円)または登山で行くことができます。 拝観料500円、特別拝観時600円 9時~16時半(拝観受付16時まで) TEL: 0748-32-3323
- 沖島** 日本遺産
 琵琶湖に浮かぶ最大の島で、湖沼島に人が住み生活を営んでいる例は少なく世界的にも珍しいといわれています。源氏の落人が住んだことから島の歴史は始まるといわれ、周囲6.8km、面積1.5kmの島には、小学校や郵便局、寺社、民泊があります。大半の島民は漁業に携わり、静かな環境で素材豊かな島の生活が営まれています。 ※沖島へは、堀切港から定期船が出ています。 沖島町離島振興推進協議会 TEL: 0748-33-9779
- 宮ヶ浜水泳場**
 環境省「日本の水浴場88選」の一つです。水際まで芝生があり、遠浅のビーチは家族連れにも人気です。
- 北川湧水**
 琵琶湖の港町であった常楽寺地区には、室町時代以前から多くの湧水があり、今もその姿を残しています。
- 常浜水辺公園**
 室町時代、観音寺城の外周であった常浜は昭和初年で琵琶湖を周遊する蒸気船の寄港地でした。現在は公園として整備されています。
- 梅の川**
 かつて琵琶湖の内湖・西の湖にそそいだ湧水の一つで、信長の家臣である武井夕庵がこの水で点じた茶を信長に献上したところ大変気に入り、茶会では好んでこの水を用いたと伝えられています。

水郷めぐり
 水郷の四季にヨシの薫りと、水面をわたる風を感じて

18 近江八幡の水郷 日本遺産 重要文化的景観
 西の湖を中心とした水郷地帯は、「春色 安土八幡の水郷」として琵琶湖八景の一つに数えられます。湖に群生するヨシが形作る迷宮のような水路を舟で巡る水郷めぐりは、カイツブリやヨシキリのさえずりを聞き、ヨシの薫りや水面にわたる風を感じながら、街の喧騒を忘れるひとときを楽しむことができます。近年では、ヨシが果たす水質浄化や生態系保護の面からその重要性が目覚め、平成18年に、この地域は全国初的重要文化的景観に選ばれました。また、平成20年には、西の湖と湖から流れる長命寺川がラムサール条約湿地に登録、翌年には、水郷地帯と接する白土・円山地域が日本の水100選に選ばれるなど、この地域の貴重な水環境は国内外から高く評価されています。日本の原風景といえる水郷の自然は、人々の心に日本のふるさつが持つ温かさをもたらし、癒しの世界へと導きます。